

令和4年11月権利擁護部会 ・合理的配慮等に関するアンケート回答票 全2枚		
宛先	障がい福祉センター 地域生活支援担当和田・川上宛	回答者氏名
FAX番号	03-5681-0137	
メールアドレス	assist@city.adachi.tokyo.jp	

## 合理的配慮等に関するアンケート

「ご自身またはご家族」、支援者の方は「支援対象者」の状況について回答ください。

個人情報、個人が特定される情報は記入しないようお願いします。

- 1 地域生活の中で、合理的配慮が不十分、障がいについて理解されずに、やりたいことができずに困った、いやな気持ちになった場面を教えてください。

※複数選択可

- ( ) 交通機関の利用 ( ) 買い物 ( ) 飲食・レストラン ( ) スポーツ  
( ) 趣味  
( ) 行政手続き ( ) 福祉サービス ( ) 病院・医療 ( ) 学校・教育  
( ) 住まい探し  
( ) 銀行・金融機関 ( ) その他：

- 2 具体的にはどのような状況でしたか？

※多数ある場合は特に共有したいことをいくつか教えてください。

3 地域生活の中で、合理的配慮が不十分、障がいについて理解されずにやりたいことができずに困った、いやな気持ちになったとき、どのように対応しているか教えてください。

※支援者の方はそのような状況を発見した場合について回答ください。 ※複数選択可

- ( ) 当事者 (=障がいのある方) ひとりで交渉を続ける。
- ( ) 支援者も一緒に交渉する。 支援者の具体例： \_\_\_\_\_
- ( ) 事業者の相談窓口へ報告して改善を求める。
- ( ) 行政機関に相談する。
- 障がい福祉課・障がい援護係 保健センター あしすと 東京都（広域相談員等）
- 事業者を所管する省庁 その他： \_\_\_\_\_
- ( ) 弁護士等専門職へ相談する。 専門職の具体例： \_\_\_\_\_
- ( ) 権利擁護部会に報告する。
- ( ) その他 \_\_\_\_\_
- ( ) 何もせずあきらめる。

- 4 地域生活の中で、障がい特性に合わせた個別の対応や工夫により、やりたいことができた等、「好事例」について教えてください。特に、対話・話し合いによりうまく調整できた事例はありますか？

※多数ある場合は特に共有したいことをいくつか教えてください。

- 5 障がい理解や、障がい特性に合わせた個別の対応や工夫について、事業者等に伝えていくために活用を期待できると思われる、また、あったらよいと思うツール、人、しくみ、などあれば教えてください。

例) ヘルプカードに、障がい特性と交通機関利用時の緊急時の配慮を記入している

6 地域の事業者等が、合理的配慮について十分に理解していくために、どのような地域の取り組み、活動（協議会・部会・ネットワーク）が有効と思われますか？

★ご協力ありがとうございました★